

ICTで校務をDX!

学年	教職員	教科 など	校務
----	-----	----------	----

職員の負担を軽減 ICT活用時短術

使用するアプリケーション等

- ・ Microsoft Teams
- ・ Microsoft Forms
- ・ 校内サーバー

DXする題材 職員会議、児童の欠席連絡、アンケートの電子化

DXのねらい 校務に関わる時間を短縮し、教材研究の時間確保や働き方改革に活かしていく。

ICTを活用することでできること

今まで時間をかけてやってきたことをICTを活用することで同じ水準かそれ以上にし、かつ時間を短縮していくことを目指していく。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

課題① 職員会議資料を印刷、配付の後、職員会議を実施する。
主に印刷は教務主任が印刷、綴じ込みを担当していた。
印刷、綴じ込みの都合上、会議資料の作成の締め切りが早いこと、教務主任の負担が大きいこと等が課題である。

課題② 児童の欠席連絡についての電話連絡
毎朝児童の欠席連絡の電話を職員室にいる教員がとっていた。朝は教員にとっては忙しい時間でもあるため負担が大きく、課題である。

課題③ 校内、市内のアンケートの実施
校内や市内でアンケートを実施するとき、アンケート用紙を配付し行っていた。児童向けのアンケートの場合は担任、教員向けのアンケートの場合は教頭が集計を担当しており、集計作業にも時間がかかり、負担が大きくなっている。



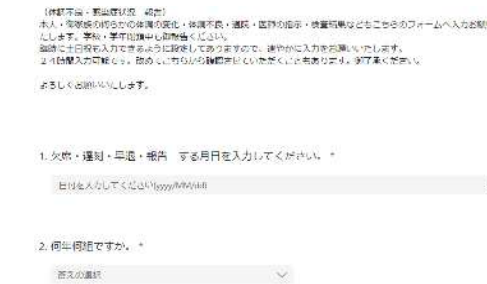
DX後

① 職員会議資料をPDFでデジタル化
会議資料を校内サーバーにPDFの形でアップロードし、それを見ながら職員会議を行うようになった。紙の資料が必要な職員については自身で印刷をすることになっている。教務主任の印刷にかかる時間を大幅に削減し、会議資料の締め切り日も会議の前日程度まで伸ばすことができ、より校務に余裕をもって取り組むことができるようになった。

01 月報.pdf	2023/07/16 11:45	Adobe Acrobat D...	136 KB
02 なわとび総務会議資料.pdf	2023/01/08 8:42	Adobe Acrobat D...	92 KB
03 原付バイク修理部タイプ.pdf	2023/01/12 17:09	Adobe Acrobat D...	10 KB
04 埼玉県地産地消推進計画案.pdf	2023/01/08 8:49	Adobe Acrobat D...	322 KB
05 R4 地産地消推進計画案.pdf	2023/01/12 15:24	Adobe Acrobat D...	480 KB
7-1 クラブ見学会議資料.pdf	2023/01/15 12:08	Adobe Acrobat D...	102 KB
7-2 クラブ見学カード (1).pdf	2023/01/13 18:12	Adobe Acrobat D...	125 KB
7-3 クラブ見学資料.pdf	2023/01/15 12:09	Adobe Acrobat D...	141 KB
10 学習指導要領改訂案.pdf	2022/06/15 15:31	Adobe Acrobat D...	83 KB
11 学習指導要領改訂案.pdf	2023/01/05 8:47	Adobe Acrobat D...	502 KB
12 6年児童発達計画 コロパバージョン.pdf	2023/01/15 12:07	Adobe Acrobat D...	560 KB
13-1 R4 卒業証書授与式案.pdf	2023/01/12 17:31	Adobe Acrobat D...	140 KB
13-2 卒業証書授与式案.pdf	2023/01/11 18:53	Adobe Acrobat D...	163 KB
14 P B L コンテストについて.pdf	2023/01/16 12:02	Adobe Acrobat D...	328 KB
15 児童自費によるネット利用ルールづくり活動...	2023/01/10 18:26	Adobe Acrobat D...	337 KB

●PDFにすることで会議中に複数人が開いても不具合が起きない

② 児童の欠席連絡をMicrosoft Formsで一元管理
保護者にFormsのQRコードを配付し、保護者のスマートフォンから欠席連絡を送信してもらう形に環境を整えた。保護者の入力内容はエクセルに自動入力され、一元管理を行うことで、担任、管理職、養護教諭で欠席児童の情報共有を常に行うことができるようになり、校務が効率化された。



●プルダウンによる選択式を主として、保護者の負担にならないように気をつけて作成

●ブラウザ版のExcelからフォームを作ることで、回答内容を自動でまとめることができる。

③ アンケートの電子化
学校全体でアンケートを行う場合は電子化を行った。電子化を行うことで集計をする必要がなくなり、担任や教頭の負担が大幅に軽減した。



●集計は自動で行えるため、アンケート結果をすぐに活用できる。

授業者から (成果・課題・留意点)

ICTを活用することで今まで時間をかけざるをえなかった作業を時間をかけずに行えるようになったことでその他の校務、教材研究等に時間を充てることができた。加えて保護者へICTの輪を広げていくことで保護者への負担も軽減していくことができた。その他にも配布の手紙の電子化や、連絡帳を保護者のスマートフォンから確認できるなどが実現できると、学校と保護者との連携の面でもICTを活用していけると考える。

課題としてはICTの得意不得意が教員間で大きく、学校の情報化の足かせとなる事である。来年度この課題を解決するためにただ情報を周知するのではなく、「全員と一緒にやる」という雰囲気作りのため、週に1度15分で終わる実践型のミニ研修を取り入れたいと考えている。そういった研修を通してICTを活用できる人を増やすことで学校全体で情報化を進めていきたい。